

緊急雇用対策で16人を採用



辞令を受け取る採用者

経済状況の悪化などによる緊急雇用対策として、南部町は町内の求職者を対象に、臨時職員を募集しました。

2月2日、役場法勝寺庁舎で辞令交付が行われ、採用の決まった16人に辞令が手渡されました。

雇用期間は、3月末日までの2か月間。パソコンのデータ入力などの事務補助や林道維持などの業務を行います。

辞令を手渡した藤友副町長は「行政での業務を経験し、次のステップに活かしてください」と採用者を激励しました。

田貝國浩さん旭日単光章受章

1月1日、田貝國浩さん(金田)が旭日単光章を受章されました。

旭日単光章は、国または公共に対して顕著な功績を挙げた方に対して授与されるものです。

田貝さんは、昭和42年に旧会見町議会議員に当選され、3期の町議会議員活動の中で、議長として活躍されるなど、地域の発展に大きく貢献された功績が認められました。

1月22日、坂本町長から勲記、勲章の伝達が行なわれ、田貝さんは笑顔で授与を受けられました。



勲記を受け取る田貝さん(左)

手作り力士で勝負



出来上がった紙ずもうで楽しむ子どもたち

南部町立図書館と南部町公民館が共同で開催する子ども工作教室が、1月18日、南部町公民館あいま分館で行なわれました。

工作にちなんだ楽しいお話や本の紹介の後、紙ずもう作りに挑戦しました。力士の顔など細かい部分を切り抜くのに苦労する様子も見られましたが、力士だけでなく、軍配団扇や色とりどりの相撲のぼりも作られ、思い思いの四股名が書かれました。

参加した子ども達は、出来上がった作品で早速勝負を楽しみました。

不審者には近づかないを第一に

不審者に会ったときの対策を学ぶ防犯教室が1月23日、つくし保育園で行われました。

米子警察署の足立玲子さんとスクールサポーターの山根範夫さんが講師を勤め、「いかのおすし」を合言葉に子ども達に知らない人に近づかないこと、もしもの時には大声で助けを求めることなどをアドバイスしました。

講師のお二人は「ちゃんと覚えようと一所懸命聞いており、きちんと大きな声も出していたので安心しました」と子ども達の熱心な態度に関心しておられました。



知らない人には「ついていけない」ように教える足立さん